

巻末資料 3

職業大が実施している

障害者・要配慮訓練生への対応研修一覧

職業大が実施している障害者・要配慮訓練生への対応研修一覧

(令和3年度職業訓練指導員研修要項より)

	研修名	研修のねらい及び到達目標	カリキュラムの項目
1	一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した支援と対応 (理解と接し方編)	実践的な演習により、行動特性の理解と、配慮して接し方の習得を目指します。 【到達目標】 ・不適切な支援・指導に気づくことができる ・本人の行動特性に気づくことができる ・行動特性に合わせた適切な接し方ができる	1 研修を始めるにあたって 2 発達障害と精神障害の基礎知識 3 接し方のポイント 4 支援方法と支援体制の紹介 5 行動特性の気づき 6 面談による把握 7 支援機関の紹介
2	一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した支援と対応 (訓練の支援と支援体制編)	理解と接し方編で習得した方法を活用して、訓練生活や実習の場面での支援について検討できる組織的な支援体制の構築を目指します。 【到達目標】 ・周囲に気付かれない支援を検討することができる ・支援機関との連携を含めた組織的な支援体制を構築する準備を整えることができる	1 行動特性のリフレーミング 2 周囲の訓練生に気づかれない支援方法 3 支援体制構築 4 支援機関との連携 5 本人・家族の協力
3	一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した支援と対応 (メンタルの支援編)	メンタルの支援方法とカウンセリング技術の基本を習得することで、訓練の支援と支援体制編で習得した個別支援の強化と、就職活動の支援編での自己理解の促しの強化を目指します。 【到達目標】 ・カウンセリング技術の基本に従って個別面談を行うことができる ・本人のメンタル面を考慮し、適切なアドバイスをを行うことができる	1 カウンセリングの基本 2 精神障害と発達障害のカウンセリング上の違い 3 アサーション 4 ストレス対応支援 5 仮想事例による検討
4	一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した支援と対応 (就職活動の支援編)	訓練の支援と支援体制編で習得した方法を実践している施設において、本人の自己理解を促しながら就職活動を支援するとともに、支援機関や企業との連携を目指します。 【到達目標】 ・本人の自己理解を促し、就職活動に活かすためのアセスメントツールを利用することができる ・就職活動と仕事の定着に必要な能力を向上させるための就職指導を行うことができる	1 オープンとクローズによる就労支援の違い 2 アセスメントからの自己理解 3 企業・仕事とのマッチング 4 就職支援にありがちなパターンとその対応 5 就職に向けた連携 6 就職指導のポイント
5	障害者の就労支援の基礎知識	発達障害及び精神障害を中心としたさまざまな障害特性に関する基礎知識を獲得し、就労支援を行うために必要な支援技法を習得します。 【到達目標】 ・障害特性に関する基礎知識を説明できる ・就労支援に関する基礎的な支援技法を活用できる	1 就労支援とは 2 様々な障害特性と就労支援技法

<p>6</p>	<p>精神・発達障害者支援のための SST (基礎編)</p>	<p>社会生活技能訓練 (SST) を活用した精神・発達障害者の支援ができることを目指します。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神・発達障害の概要とリハビリテーションについて理解できる ・社会生活技能訓練 (SST) の理論と技法を活用できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神。発達障害についての理解 2 社会生活技能訓練 (SST) の理論と技法 3 適応ケースの選択、薬物療法や他の治療方法との組み合わせ方、チーム医療としての実施方法 4 SST を用いたリハビリテーションと計画の策定方法 5 服薬指導、再発兆候への対処技能、身嗜みや金銭管理等の基本生活技能、対人関係保持能力、作業能力などの改善のための実施方法 6 SST を進める上での実践的な課題の確認 7 実技指導
<p>7</p>	<p>訓練場面での MWS による特性把握と対応法</p>	<p>精神・発達障害等のある訓練生の円滑な訓練受講ができるように、訓練場面において幕張版ワークサンプル (MWS) を活用し、訓練生の特性把握や自己認識を促すための対応法を習得します。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練場面での作業のやりにくさやストレス・疲労等の特性把握ができる ・訓練生が作業を通して対応表の習得するための支援ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1 作業 (MWS) の概要 2 訓練生の作業を通じた特性状況や現れ方について 3 行動観察の概要 4 作業 (MWS) を通じた行動観察演習 5 作業 (MWS) を通じた対応法演習

本報告書等は、基盤整備センターホームページの「基盤整備センター
刊行物検索」から閲覧、ダウンロードができます。

URL : <http://www.tetras.uitec.jeed.go.jp/>

調査研究報告書 No. 182

「障害者訓練を担当する職業訓練指導員に関する調査研究」

発行	2021年3月
発行者	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 職業能力開発総合大学校 基盤整備センター 所長 植田 穰
	〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1 電話 042-348-5075（企画調整課）
印刷	株式会社〇〇〇〇 〒〇〇〇-〇〇〇〇 神奈川県横浜市〇区〇〇△-△-△ 電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

本書の著作権は独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が有しております。

ISSN 1340-2412

調査研究報告書 No. 182
2021

THE INSTITUTE OF RESEARCH AND DEVELOPMENT
POLYTECHNIC UNIVERSITY